



Let's 両親学級!!

助産学科 第5期生 鳥越奈々

助産師は母親だけでなく父親や家族、地域社会に対しても支援する役割があります。その一つとして、実習ではこれからお産を迎えるご夫婦に対して両親学級をおこないました。プログラムは、お産の経過の説明やおむつ交換体験や妊婦体験などです。パパさんは実際に8kgもある妊婦体験ジャケットをつけました。パパさんたちからは「重いな」「そういえばいつもこんな感じで起き上がってたね、こんなに大変だったんだね」と、ママの大変さにあらためて気づいたようでした。その後、ママのしぐさを気遣うパパの様子は、微笑ましかったです。この両親学級をとおして、家事や育児への思いを聞くことができ、家族になっていくことのすばらしさを学ぶことができました。

この4月から病院で働くにあたり、私たちはさまざまな状況にある妊産褥婦にわかりやすく説明できなければなりません。今回、両親学級の企画・運営をして、緊張もしましたが、助産師だからできることもみえてきました。助産師の指導は、母児の安全に直結しています。私たちはこの1年間「もう一度あなたに…と言われる助産師になりたい!!」という目標を掲げてきました。分かりやすい説明を通して、信頼される助産師になれるよう、残りの学生生活を有意義なものにしていきたいと思えます。